

川崎市における2種のトンボの報告

Two Species of Odonata in Kawasaki

岩田芳美・山本 晃

Yoshimi Iwata and Akira Yamamoto

2007年から2010年の間、かわさき自然調査団の団員から調査活動中のトンボの目撃情報が多く寄せられた。今回はその中から標本を伴うマルタンヤンマとチョウトンボの2種を報告する。

①マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (Selys)

1♀ 宮前区東有馬 2010年8月1日 岩田芳美 (図1)

♀未熟個体を国道246号の歩道上で採集した。同所は尾根部の頂部の住宅地で道路に沿ってマンション、商業ビルがあり、付近にトンボの発生が可能と思われる場所はない。移動中にアクシデントに見舞われたものと推測する。

②チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys

1♂1♀ 麻生区早野林ヶ池 2009年8月19日 山本 晃 (口絵図8-6)

第5次自然環境調査時には早野から消えていた。その後、早野の池にヒシが復活したことにより再度発生したと思われる。山本は2010年にも多数を目撃している。また、佐野悦子と複数の野鳥班員は2009年の多摩川河口調査と2010年7月27日の麻生区黒川よこみね緑地調査にて同種を目撃している。

謝辞

佐野悦子氏とかわさき自然調査団野鳥班にはトンボ目撃情報を戴いた。深く感謝する。

参考文献

荻部治紀・岩田芳美・昆虫班, 2003. 川崎市のトンボ 現況とその変遷. 川崎市自然環境調査報告V : 418-429.

著者紹介

岩田芳美 特定非営利活動法人かわさき自然調査団 水田ビオトープ班

山本 晃 特定非営利活動法人かわさき自然調査団 昆虫班



図1 マルタンヤンマ♀未熟